

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	S.I.C.KIDS半田校		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 11日		～ 2026年 1月 11日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	50	(回答者数) 36
○従業者評価実施期間	2026年 1月 19日		～ 2026年 1月 27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> S.I.C.KIDS半田校のご利用を楽しみにされている事 保護者様からも出来る事が増えたと評価頂いている事 	<ul style="list-style-type: none"> お子様が楽しく身体を動かす中で、信頼関係をしっかりと築いていくことができるように指導員と安心・安全の環境の中で身体を動かし、関係づくりをしています。 お子様のこれやりたい・チャレンジしてみたいという思いを大事にしながらか支援プログラムを立案しています。 毎日、清掃と消毒を行うことにより衛生面にも気を遣いながら、定期的に点検を行うことにより安心してご利用して頂けるように努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> 支援終了後に担当指導員よりお子様の様子や成長されたところ、取り組めたことを保護者様に伝える事により、日々のどのように発達されているか分かりやすく伝えていきます。 個別支援計画で数値化や見える化出来るものは、そのような目標として、お子様の成長を分かりやすく感じて頂ける取り組みをおこなっています。 現場での怪我や事故が起きないように、ヒヤリハットを作成し、職員間で対策などを考えて実際に怪我が起こらないように未然に防ぐ取り組みを行っています。
2	<ul style="list-style-type: none"> 原始反射の統合に向けた専門的運動療育が受けられること 1対1の個別療育で発達段階に合わせた支援を受けられること 	<ul style="list-style-type: none"> 職員は全て、本部にてS.I.C.KIDSオリジナルの基礎研修を受講してからお子様の支援に関わっています。 お子様ひとりひとりの成長された所、伸びしろポイントを職員間で情報共有し、支援に繋がっています。 お子様・ご家族様のニーズや要望を分析し、お子様の発達段階に合わせて、プログラムを立案しています。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員のスキル向上に向けた研修や勉強会に積極的に参加し、支援に繋がっています。
3	<ul style="list-style-type: none"> ご家族様との関係づくりも大切にしていること カメラで実際にお子様とどのように関わっているか見て頂けること 	<ul style="list-style-type: none"> トレーニング終了後にお子様の様子をお伝えしたり、園やご家庭での様子、お困りごと等をお聞きして情報共有しています。また、ご家族様のご要望をお聞きして、面談を行い、家族支援も行っています。 カメラで実際の支援を見て頂きながら、支援のご説明やご家族様からのご質問・お悩み事などをお聞きしております。 	<ul style="list-style-type: none"> ご家族様からも話しやすい環境作りを目指して、職員から保護者様にお声がけして、お話す時間を作っています。 ご質問を頂いた際には、早急に対応できるように努めております。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者会やペアレントトレーニング等の勉強会を開催することができていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 年間計画に落とし込んで計画的に保護者同士の交流や勉強会の計画立案が出来ていない。 	<ul style="list-style-type: none"> スモールステップで、保護者様が知りたい情報や勉強会などの情報を集めて、年1回開催することから始めていく。 保護者様同士の交流の機会を作り、ご家族様への支援も強化していきます。
2	<ul style="list-style-type: none"> 地域交流を行うことができていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> 1対1の個別療育の為、事業所内を出て活動する機会がないです。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学生や高校生の職場体験を通して、事業所のことをまず地域の方に知ってもらい・興味をもってもらうことから始めていきます。
3	<ul style="list-style-type: none"> 各種マニュアルや非常時等の対応について、事業所での取り組みきちんと周知できていないこと 	<ul style="list-style-type: none"> SNS等で活動内容を発信したり、チラシを配布したりはしていますが、マニュアル等は待合室に置いてあるだけになってしまっています。 	<ul style="list-style-type: none"> 置いておくだけでなく、声掛けをしたり、積極的に発信を行い、もっと周知していくことができるように努めていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	S.I.C.KIDS半田校
------	---------------

公表日 2026年3月1日

利用児童数 50

回収数 36

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	34	2	0	0	・同じ時間帯に最大3名のお子様が入室し、活動スペースは一人ひとりのお子様に思い切り身体を動かして頂くことができるぐらいの広さがございます。支援室の広さは事業所の魅力の一つでもあります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	35	1	0	0	増員されて安心感が増しました。 ・法に基づき、有資格者を配置しております。 ・設置基準以上の人員を配置させて頂いております。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	34	1	0	1	・絵カードやタイムタイマー等を活用して、お子様の特性に応じた配慮を心掛けております。入口に段差があり、スロープがない為、必要に応じて考慮し、対応していきたいと思っております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	36	0	0	0	・毎日、清潔に保てるように清掃を行い、時間ごとに支援室の換気と教具の消毒を行っております。更に安全面に配慮し、支援室や教具の安全点検を週に1度行っております。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	35	1	0	0	・保護者様と面談する中でニーズ等を把握し、保護者様の意見も頂きながらお子様に必要な支援を計画に盛り込んでおります。 ・スモールステップで目標を設定し、利用者様が安心して楽しく通って頂く中で達成感に繋げていくことができるよう心がけております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	33	1	0	2	・支援プログラムはホームページに掲載して公表しております。 ・原始反射の残存の影響を改善するために、お子様に必要な運動療育プログラム等を提供しております。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	35	0	0	1	学校の授業に関わる動きや支援が受けられたいいなと思う。 ・最低半年に1度、保護者様との面談や送迎時に情報共有をさせて頂いております。 ・身体を支えることで、学校の授業で行われる動き等に対応できるような支援を行っております。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	33	0	0	3	・ガイドラインを基にお子様・保護者様のニーズ等を把握し、分析を行って頂く中でスモールステップで目標・支援内容の設定を行っております。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	35	0	0	1	・放課後等デイサービス支援計画と毎回の支援記録を基に職員間でお子様の情報共有を行い、指導員がお子様に必要な支援プログラムを考え、自主性を大切にしながら支援を行っております。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	33	3	0	0	・お子様の姿を様々な指導員の視点から気づくことができるように、毎回、担当指導員を変えて支援を行っております。その中で支援の方向性は職員間で共有し、数あるトレーニングからプログラムが固定化しないようお子様の様子を見て工夫をしております。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	6	8	12	10	・事業所では個別療育の為、交流や活動を共にする機会はないのですが、同じ時間帯でご利用のお子様同士の交流があります。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	35	0	0	1	・体験時や契約時に保護者様と面談させて頂き、ご説明させて頂いております。ご不明な点等がございましたら、いつでもご質問下さい。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	35	0	0	0	・利用開始時と半年後の計画更新時に保護者様にお時間を頂き、放課後等デイサービス計画をご覧頂きながら説明をさせて頂いております。ご不明な点等がございましたら、いつでもご質問下さい。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	27	2	2	4	・S.I.C.KIDSご利用の保護者様向けセミナーやファミフェス等を開催しております。今後も様々な企画・開催を行い、ご案内できるようにしていきたいと思っております。皆様のご参加、お待ちしております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	32	3	0	0	・送迎時にご家庭や学校での様子をお聞きしたり、トレーニング終了後やアプリでお子様の様子やトレーニング内容をお伝えして、情報共有を行っております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	3	0	2	・利用時に保護者様と情報共有させて頂く中でご相談やお困りごとに関して、助言をさせて頂いたり、面談を行ったりしております。子育てサポートの中で実際にお子様のご様子なども確認いただいております。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	34	1	0	0	保護者の悩みや思いを共感して受け止めて下さり安心します。 ・ありがとうございます。お子様の自己肯定感に繋げていくことができるように、できた体験を沢山経験してもらい、できた・頑張った喜びや満足感を保護者様にもお伝えして、共に成長を喜び合い、支援することを大切に関わらせて頂いております。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされているか。	12	5	6	13	弟も1度体験（遊ばせてもらった）して室内（プレイエリア）に入りたいと思っているので、年に1～2回程度遊べる機会があると嬉しい。 ・イベントの開催が少なく、今後の課題と考えております。ご意見を参考にさせて頂き、今後も様々な企画・開催を行い、皆様にご案内できるようにしていきたいと思っております。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	4	0	2		・放課後等デイサービス計画に相談支援について記載し、ご説明させて頂いておりますが、より相談しやすい環境の整備と相談できる場があることを皆様に広く周知していくことが課題と考えております。事業所側からお声がけさせて頂き、相談しやすい環境に努めてまいりたいと思います。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	34	1	0	1		・送迎時やアプリ等のツールで保護者様と連携を取らせて頂き、情報伝達を行っております。また、利用時に事業所側からお声がけさせて頂いております。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	31	2	0	3		・インスタグラムやブログにて活動概要や行事予定を発信しております。自己評価の結果についてはS.I.C.KIDSのホームページの事業所一覧より、S.I.C.KIDS半田校の最下部「評価表」よりご覧頂くことができます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	33	1	0	2		・契約時の書類や個人記録等は鍵付きの書庫で保管をしています。今後も個人情報の取扱いには細心の注意を払ってまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33	1	1	1		・各種マニュアルは待合室にファイルにまとめて設置させて頂いております。皆様に周知して頂けるように今後もしっかりと説明してまいりたいと思います。 ・訓練は定期的に行い、インスタグラムやブログにて発信もさせて頂いております。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	29	1	1	5		・定期的に避難訓練等を行っております。利用者様にも参加して頂く際には事前に皆様にお知らせや連絡ツールで周知させて頂き、訓練の様子もインスタグラムやブログにて発信させて頂いております。今後も様々な状況を想定し、訓練を行っていきたくと思います。ご協力よろしくお願いたします。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	32	0	0	3		・安全計画を作成し、定期的に安全点検や訓練を行っております。また、安全確認を行いながら、支援をしています。今後も反省点等を見直しながら安全の確保をしっかりと行い、支援していきたくと思います。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	33	2	0	1		・事故や怪我が発生した場合は、お子様の安全確認と状況確認を行い、速やかに処置と保護者様へご連絡をさせて頂いております。今後も安全面に配慮しながら安心して利用して頂けるように、また、速やかに対応できるように努めてまいります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	36	0	0	0	子どもにとって「安心出来る楽しい自分の居場所」となっていると感じます。	・ありがとうございます。ひとりひとりのお子様で安心できる場所となることを日々、大切に支援しております。今後もお子様・保護者様が安心して利用して頂くことができるように努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	35	1	0	0	とても楽しみにしています。	・ありがとうございます。お子様が元気に笑顔で来てくれる姿を私たち職員も嬉しく思います。今後も楽しく身体を動かして、気持ちもリフレッシュしながら過ごすことができるように関わっていきたくと思います。
	29	事業所の支援に満足していますか。	34	2	0	0	身体の動かし方が分かり、色々出来る事が増えました。保護者と同じ方向を見て、子どもの成長を共に支えて下さり、とても心強いです。	・ありがとうございます。今後もお子様の自己肯定感を高めながら、たくさんのできた体験や様々な経験を通して成長や発達に繋げていくことができるように微力ではございますがお手伝いさせて頂けたらと思います。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	S.I.C.KIDS半田校		公表日 2026年 3月 1日			
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		多くても3人なので、狭さは感じません。支援スペースも広く、2つの空間で思いっきり身体を動かせるようになっています。トレーニング内容によって使い分けたり、子ども達も伸び伸び身体を動かしていると思います。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		1対1で支援が出来るため手厚いと感じます。職員の人数により、受け入れるご利用者様も計算し、適切を保っています。規定に準じた職員数の配置数にはなっています。ギリギリの人数の際は、次の支援準備や片付けの大変さは感じます。配置基準以上配置されています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		靴箱やトイレは絵カード(写真)を貼って視覚化されています・段差のない室内になっています。子どもたちが安心し、分かりやすい教具選びが出来るように対応しています。見通しカード等で視覚支援も取り入れています。タイムタイマーなども使用しています。平屋なのでバリアも少ないです。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		毎日の清掃に加え、週に1回消毒・点検を行っています。基本的に教具の配置は変わらず、安心できる空間になっています。支援前後に消毒・換気を行っています。トレーニングルームは、支援内容や利用者の状態によって、支援員同士で連携し使い分けています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		トレーニングルームに入室できない場合、待合室やミーティングルームで支援することがある。トレーニングルームは2か所に分かれており、別室での対応もできます。ミーティングルームがあるが、ルーム内使用時に別に一人になれるスペースがあってもいいかもしれない。ご利用者様の心理状況により安心して過ごせる場所を考えるようにしています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	1	参画しやすいように記録や書類にまとめてあります。入社初年度のためか振り返りはあまり参加出来ないように感じます。計画に基づいて支援を行って、それぞれ振り返り記録として残していますが、全体での共有し合う時間は少ないと感じます。少しずつではありますが、目標設定と振り返りを行っています。	・目標設定と振り返りを丁寧に行ってい、業務改善を進めていきたいと思います。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	2	全保護者様に定期的に評価表を配り、改善等はミーティング等で話せています。評価表は全保護者に配布されているが、回収率などが分からず把握できていません。評価結果の共有がすぐには行われず、話し合いの場が今の段階ではないので、できるだけ早めに共有ができるとういです。	・保護者様のご意見を参考に今後、業務改善に努め、安心して利用して頂けるようにしていきたいと思います。 ・評価結果を集計後なるべく早急に共有できる体制を作っていきます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		気になる事があればミーティングにてホウレンソウが来ています。改善に繋がっているものもありますが、職員全員がそう機会が少なく、共有し辛さを感じる時もあります。支援の事、環境の事に関しては気付いた点など共有している。ただ、話しくい雰囲気の時があるので、全職員が思いを出し切れているかは分かりません。朝礼・終礼・全体ミーティングの場を設けて職員の意見を聞いています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	評価表の配布・改善まとめはされています。外部評価がされているか把握できていません。外部評価の頻度等、不明な部分があります。第3者評価は実施していません。	・第三者による外部評価は行ってありません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に1度は研修を行い、学んでいます。自治体からの研修案内は掲示されており、法人でも定期的に行われています。研修日とシフトの都合で参加が出来にくく、後日個人で動画を視聴することが多かったです。内部研修を行う場合もあります。外部研修の案内を回覧しています。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		支援プログラムが全職員が見れるようにファイリングされています。個々のファイルにて保管され、いつでも見返せるようになっています。HP上に公表されています。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		モニタリング時に保護者様だけでなくお子様にも頑張りたい事出来るようになりたい事を聞きそれも踏まえて計画を立てています。子ども本人から聞き取りが出来る場合はニーズを聞き取り反映されています。原始反射チェックや日々の支援のフィードバックを行っています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		個別支援会議にて検討が行われています。計画を立てる前に職員たちに意見を聞きまとめています。支援会議を行い、意見交換を行っています。気になる事などあれば、その都度話し合いを行っています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		計画はすぐに見返せるようにファイリングされています。支援目標と支援内容を意識して支援出来るようにしています。毎回個別ファイルで記録を確認し、継続した支援が出来るように心がけています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	1	原始反射の残存チェックは統一されたものを使用しています。保護者向けの日常チェックシートもあります。日々の行動観察のアセスメントは無いように感じます。日々の行動観察を記録に残し、共有を図っています。	・職員の意見を参考にして、日々の行動観察に有効なアセスメントシートの改善等考えていきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		会議にて、狙いが高い・低いと感じるものは共有・相談して子どもの姿にあった支援内容に設定されているように感じます。個別支援計画に沿って支援を行っています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3	3	担当職員がその日にプログラムを立てています。継続して取り組みたいものは共有されることもあります。1対1の関係上個々人でその日のプログラムを立てています。その日の担当者がプログラムを立てています。今までの支援記録を見て、最近の様子・変化などにも配慮し提供しています。	マンツーマン支援のため、チームでの立案が難しい所もありますが、職員間で共有をしっかりと図り行っています。

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		担当が固定ではないため、プログラムの立て方や支援も固定化されていません。同じメニューでも取り組み方に変化を持たせるなど工夫しています。年齢・発達に合わせてルールを考える工夫もしています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	2	基本的に1対1なので、集団活動の計画はないです。同枠の他児との関わりはあります。基本個別療育なので1対1が多いが、場合によってはお友達との関わりを交えての支援になることもあります。必要に応じて他児との関わりも視野に入れています。	基本的に1対1の支援なので、集団活動が難しいですが、小集団の活動で取り組めるものがあれば、考えていきたいです。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		担当児・モニタリング・来客等は共有されています。イベント等もあれば共有されています。日々の支援は1人で組み立てる事が多いです。毎朝のミーティングは行っていますが、担当の子を確認するのみです。同じ時間帯の職員とは支援内容を共有し合う事はあります。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼で共有されています。共有しそびれたものは記録や共有ノートで共有されています。支援終了後の終礼で、各担当の方から支援の振り返りや共有事項の話をしてもらっています。終礼時間が短いため、もう少し長く取れると良いと思います。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		担当が固定ではないので、子ども様々な姿を見せてくれますが、記録されているため次の支援が行いやすいです。必ず毎回記録を取っています。それを基に次の支援に活かせるようにしています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		基本6か月に1度、モニタリングを行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	1	45分間の運動療育がメインのため、4つの基本活動を満たせていないです。運動療育を行いつつ組み合わせています	・地域交流の機会の提供ができていないのが課題です。今後、保護者様の意向をお聞きしながら地域交流に繋がる支援を検討していけたらと思います。
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		活動の工程表の中から自由に選んだり、好きな遊びをする中で、トレーニングを入れたり子どもによって変えています。やりたい活動等の言語化を促して支援を行っています。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		基本的には児発管が参画しています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		保護者を通じて医療機関で行っていることや行ってほしいトレーニング等を共有されています。必要に応じて関係機関と話をし連携をしています。少しずつではありますが、連携を進めています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	2	送迎は保護者のため、連絡を取る機会は少ないと思いますが、必要があれば学校の様子を伺ったり訪問したりしています。不登校に関しては学校と情報共有するなど連携をとっています。情報を共有しているものもあります。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	3	そのケースをまだ見ておらず、把握できていません。情報共有できるとよいと感じています。園や発達支援事業所との連携はまだ弱いです。	・保護者様とも連携を取りながら、保育所等と連携を進めていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	2	そのケースをまだ見ておらず、把握できていません。まだそのようなご利用者様がいません。	・対象利用の方が今までに居ない為、実施しておりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	3	研修は受けています。まだ連携には課題があります。	・児童発達支援センターと連携を図ることはできていないです。研修等に参加する中で交流を深め、必要に応じてスーパーバイズや助言を受ける機会を設けていけるようにしていきたいと思っています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	5	戸外での活動がないため地域の他の子どもとの活動する場面がありません。45分の個別指導という特性もあり、交流機会は難しいです。	・個別療育の為、交流や活動を共にする機会はないのですが、同じ時間帯でご利用のお子様同士の交流があります。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	1	児発管が参加しています。	・今後も積極的に参加し、地域に開けた事業所作りに向けていくことができるように努めていきたいと思っています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		その日担当した職員から様子をつたえられています。利用終了時にトレーニングの様子や成長した部分など伝えていきます。保護者の方からも家・学校の様子を教えてください。共有することになっています。アプリでもお伝えしています。	
保護者へ	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ヘアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		本部主催でも家族向けの研修があると聞いています。半田校で行っているかは把握できていません。S.I.C.KIDS半田校で開催することは、今年度はなかったですが、市町村から案内があれば待合室に掲示したり情報を伝えてはいます。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に児発管が行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		半年毎のモニタリングにて意向を確認しています。支援中にも子どもに確認を行った後、支援後に保護者様にも支援内容をお伝えして確認しています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		児発管より説明して同意を得ています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		首段の申し送り時に悩み等を伺う事もありますが、必要に応じて別日に時間を設け、家族支援を行う事ができます。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5	開催されている所は見えず、同枠になった子の保護者同士顔を合わせるくらいで、交流としては設けられていません。保護者と管理者の相談等はありませんが、形態上保護者同士の交流は設けていません。待合室で交流することは出来ます。	・様々な交流する機会を作り、支援に繋げていきたいと思っています。

の 説 明 等	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情は受けている所は見ただけではありませんが、要望は受けた職員が他職員に共有、検討しています。苦情担当窓口を決めて対応しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6		インスタグラムにて、日々の活動の様子を発信しています。避難訓練などのレギュラーな支援は該当児にお知らせしています。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		鍵付きの書庫にて保管しています。SNSには個人を特定できる写真は上げずに保護者様にも確認の上、発信しています。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		情報の視覚化はされています。子どもの姿に合わせてLINEやチャットを使って様子を共有することもあります。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わられた事業運営を図っているか。	5		地域との関りはほとんど見たことがありません。ご利用者様との行事はありますが、地域住民となると形態的に難しいと感じます。福祉の相談窓口の看板は出していますが日が浅いです。	・地域住民を招待する等のイベントや行事を実施することはできていません。 今後、保護者様の意向をお聞きしながら地域交流に繋がる支援も検討していけたらと思います。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		マニュアルは待合室に置き、保護者さまにも周知されています。訓練は定期的に行っていますが、シフトの都合で参加出来ない事があります。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		定期的に行っていますが、シフトの都合で参加できないことも少なくないです。おこなっていますが、出勤ではない職員は訓練しないままなのでBCP訓練の際は、全職員が参加出来るようにして、緊急時の対応を実際に訓練していくとよいと思います。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6		フェイスシート・アセスメントシートにて把握しています。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	3	給食やおやつ提供はしていないので、特に対応はしていませんが、アセスメントシートにてアレルギーは把握しています。	・おやつ等の食べ物の提供はしていない為、医師の指示書に基づく対応はしておりません。お子様の特性を理解し、保護者様に確認を取りながら安全に配慮して支援を行ってまいります。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		定期的に研修・訓練を行っています。把握できていません。	・年間計画など職員と共有していきます。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		インスタ等で訓練内容を知らせています。把握できていません。	・年間計画など職員と共有していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		ヒヤリハットがあった場合は記入し、原因と防止策について考えています。全員が共有できていない等あるので、回覧するなどして再発防止に努めていきたいです。ヒヤリハットは書類で報告していますが、会議などで報告・検討はほとんどしていません。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		定期的に虐待研修を行い、共通認識が持てるようにしています。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現在身体拘束が必要となるお子様はいませんが、会議等の話し合いで決定しています。		